

Prove you can Deploy, Operate, and Manage OpenStack !



OpenStack を扱うプロフェッショナルの証
オブセル

OPCEL認定試験

〈 Ver.2.0 〉

Certification Exam for OpenStack Professionals
by

LPI-JAPAN

クラウドの大空を、大きく飛躍するエンジニアへ

- OpenStack環境の構築、運用管理に必要な技術力を証明
- 世界中のOpenStackの専門家による、グローバルな体制で開発
- ディストリビューションに依存しない中立な認定試験
- 全国のテストセンターで日時・場所を選択して受験可能
- ITエンジニアのスキルの向上と技術力を担保する客観的基準として役立つ

<https://opcel.org>



OpenStack を扱うプロフェッショナルの証

OPCEL認定試験

オブセル

Certification Exam
for OpenStack Professionals
by LPI-Japan

『OPCEL認定試験 (OpenStackの技術者認定試験)』は、オープンソースのクラウド基盤「OpenStack」に関する技術力と知識を、公平かつ厳正に、中立的な立場で認定する、クラウド技術の促進とクラウド技術者の育成を目的とした認定資格です。「OPCEL認定試験」に合格したエンジニア (OPCEL認定プロフェッショナル) は、OpenStack環境の構築・運用管理に必要な技術力を持ち、質の高いクラウドインフラを構築できるプロフェッショナルであることを証明できます。また企業においても『技術力を担保する客観的基準』として活用できます。

対 象

- プライベートクラウドの構築・運用を行うSI事業者
- データセンター事業者
- クラウドサービスを展開する事業者
- 自社サービスのインフラの開発・運用担当者、社内SEの育成担当者
- 社内IT基盤のクラウドへの移行を検討しているエンジニア
- クラウドインフラエンジニアとして、1歩進んだキャリアを目指す方

Ver.2.0 の出題範囲

主 題	内 容
OpenStack のアーキテクチャとデプロイメント	● クラウドコンピューティングの概念 ● OpenStack のアーキテクチャと設計 ● OpenStack のインストレーションとデプロイメント
管理・共有サービス	● アイデンティティサービス、認証と認可 (Keystone) ● ダッシュボード (Horizon) と RESTful API ● モニタリング (Ceilometer) ● オーケストレーション (Heat) ● イメージサービス (Glance)
インフラサービス	● ネットワーキングサービス (Neutron) ● コンピュートサービス (Nova) ● ブロックストレージ (Cinder) ● オブジェクトストレージ (Swift)

証明できるスキル

下記のOpenStackのオペレータおよびアドミニストレータ両方のスキルレベルを証明します。

- OpenStack環境において、エンドユーザが必要とするインスタンス、アプリケーションおよびサービスの各種設定をすることができる。
- OpenStackのコアサービスの構築および OpenStack環境の運用管理を行うことができる。
- 下記を実行できる。

- ・ 認証管理
- ・ ダッシュボードのカスタマイズ
- ・ ユーザ、プロジェクト (テナント)、その他のシステムリソースの管理
- ・ 新規イメージの登録とカスタマイズ
- ・ ネットワークの構築
- ・ 新規VMイメージの作成および使用
- ・ 各種ストレージの設定

Ver.2.0 の資格体系

- 問題数: 約60問
- 試験時間: 90分 (アンケートの時間を含む)
- 対応バージョン: Mitaka~Queens
- 試験方式: CBT (択一問題、複数選択問題など)
- 認定条件: 「OPCEL認定試験」に合格すること
- 認定の有意性の期限: 3年間
- 受験費用: 33,000円 (税込)
- 受験条件: 特に無いが、Linuxレベル1認定取得または同等のスキルがあることを推奨
- 試験会場: 全国のテストセンター (ピアソンVUE) で日時・会場を自由に選択して受験できる

特定非営利活動法人 / オープンテクノロジー技術者認定機関
エルピーアイジャパン (LPI-Japan)

Tel : 03-6205-7025 E-Mail : info@lpi.or.jp

<https://opcel.org> (公式 Web サイト)

<https://www.facebook.com/lpijapan> (公式 Facebook)